

THE
KANSAI
UNIVERSITY
NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会
大阪府吹田市山手町3丁目

干支にちなんで

古墳出土の鶏形埴輪



角山幸洋

関西大学の所蔵品・発掘調査から

今年は辛酉の年である。干支のめぐりからすると、変革のある年でもあるが、それはさておき、西暦(西)についての関西大学が関係した考古学資料、とくに古墳出土の鶏形埴輪をあげ、それととも古墳の鶏について位置づけを試みてみた。

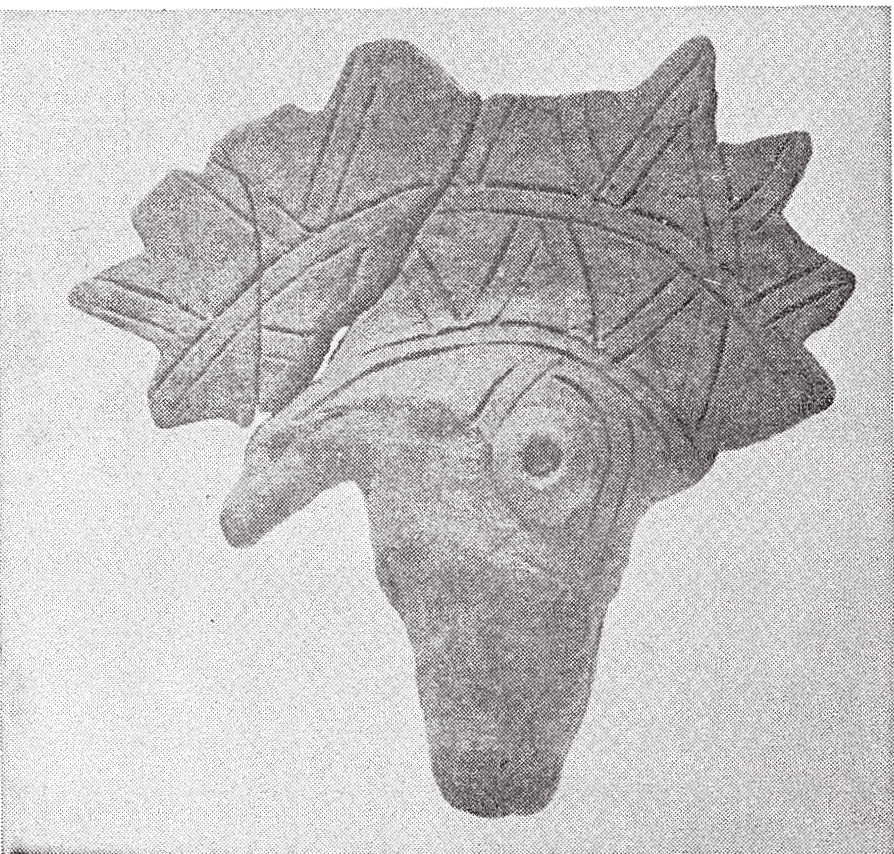
まず関西大学が関係した古墳出土の鶏形埴輪をあげよう。

その一つは、大正九年に愛媛県喜多郡久米村(現在の大洲市)小学校庭より出土したもので、重要美術品の指定を受け、もと山科レクシオンに収められていた。現在関西大学の所蔵に帰している。

死者の復活願って

この鶏形埴輪は頭部のみで、胴部を欠くが、全体的にはあつらひした体軀からなり、真直に立った鶏は鶏の延び上がった姿態をよくとらえている。眼は深く粘土をはから昭和四十二年に於いて絵画をなしているもので、とくに雄の鶏の形に似ていられる。

伴出遺物や出土状況が不明のため位置づけを困難にしている。また関西大学が和歌山市教育委員会との委託により、昭和三十八年から昭和四十二年にかけて絵画をなしているもので、とくに雄の鶏の形に似ていられる。



鶏形埴輪 和歌山市大谷山22号墳出土(和歌山市教委蔵)



鶏形埴輪 愛媛県大洲市久米小学校庭出土(関西大学蔵)

本号の内容

- ▼1面 干支にちなんで 千里眼▼2面 割賦販売等に注意を 天六祭 図書館の寄贈
- ▼3面 『経済学』創刊 学生刊行物等 電気工学科講演会 建築学科講演会 第二部商学会 主催講演会 工学部主催講演会 内部学際研究会 『関大通信』第二十七号、第一一八号を発行 将棋部優勝 セミナーハウス紹介 一関地区大学セミナーハウス 太田雅一 名教授死去▼3面 研究室めぐりラテック・アメリカ研究室、機械工作研究室 充実した研究機関 ①部活動問題研究室について 高木秀彦教授の三選と日本学術会議の課題▼4・5面 座談会「資源問題の現状と課題」▼6面 末永名教授が文化功労者に選ばれたのを祝して▼7面 とり年にあたって▼8面 教科書中の部落差別問題について 随想 新刊紹介 編集後記

明日からやめよう 自動車通学

これらの文献による研究成果をふまえて、再び古墳に鶏をおくことと理由を考えてみた。家畜化は、何らかの行事を暗示するようされていくなかで、鶏のもつ特有である。(経済学部教授)

もにあらわれ、六・七世紀には関東地方へと及んだ。鶏形埴輪は、古墳において単独で出土するのではなく、多くは人物・動物(人・水鳥・馬)・家畜、形埴輪をともない、埴輪列あるいはそれにより区画された内部に、何らかの意図をもち配置された状態で出土することが多い。そのことは死後の生活を埴輪により再現するものと考え方があったが、それよりもむしろ送迎の儀仗、葬列に用いられるものや、それと見方が有力になってきた。そのとき鶏は常夜燈の長鳴鳥の物語のように、鶏鳴をもって死者の復活を願う儀礼が、埴輪に形とられていたとみられる。

さて現代社会において鶏は、経済動物の一つとして重要な役割を果たしているが、もともとは動物である。その原産地は、マレー半島またはインドにあるといわれ、家畜化をともない北上し、わが国には縄文時代に稲作文化とともに中国の江南地方で普及していったものが渡来したといわれる。その鶏の(かき)をあげて、

これは鶏にあらう。中国人には一般的に動物として特記されたことがない。鶏方貞の『日本古代家畜史』のなかで、鶏の飼育目的として、①食糧、②祭祀、③計時(鶏鳴)、④娯楽(鶏鳴の四つ)をあげておられ、さらに天武天皇四年の食肉禁止、天平二年の殺生禁断など、一連の禁止令から採卵鶏が養育されたことが推測されている。

これらの文献による研究成果をふまえて、再び古墳に鶏をおくことと理由を考えてみた。家畜化は、何らかの行事を暗示するようされていくなかで、鶏のもつ特有である。(経済学部教授)



いよいよ八〇年代が始まりました。と書けば、アレッ、もう昨年に暮明けているようにとほしかりを受けるかも知れない。しかし、八〇年代の始まりは、やはり、八一年、今年である。昨年はあくまで七〇年代の最後、しめくりの年であった。カーターは追われ、長嶋・王も去った。既にいわれてきているように、八〇年代は不確定・不透明の時代である。米国のレーガン大統領は、この二十日、ホワイト・ハウス入りをする。あんな大逆無道な、次期大統領に就任するとは、大方が予想していなかったはずなのに、結果論的にそれがごく当然のこととしてレーガン論が流行している。もし彼が落着いたら、「やはり、二流の西部劇スターは、ファースト・マンにはなれなかった」といわれたらどう。大切なことは、結果からみて、過去を批判するのではなく、現状を踏まえて先行き分析を緻密に積み重ねて行くことこそが、必要とされねばならない。とくに、内外環境共に見透しの困難な時代に入ったことだけは確実である。最終回闘争に空振りや失策を繰り返してきたカーターに見切りをつけ、「強いアメリカの再生」を託されたレーガンが、諸外国、ことに我が国に何を迫ってくるか。長嶋に見切りをつけた「強い巨人の再生」がプロ野球を面白くするかどうかというのと全く事が違ふ。レーガンの采配する米チームの暴投や流球に当たらず、我が国も心せねばならない。シラケムードで応援スタンドで傍観とはいかない。▼「トンでいる」とか「はたけ」などと浮いたムードにのせられて、「バタバタ」させられないよう御用心。

被害に遭えばすぐ相談を

「學用教材」なるを著つた
業あり。また、難題なるの
期問を要するものもある。

試験入契約をして學生が函
字の成績が悪く」とか、「契約が
品の質が極低だ」とか、いろいろい
がかりつけられたい。「一種の特
典がある理由大宣伝はよくない
としたらながじてよえな」

「解を
求めたら、その場へ『多額の違約金
を請求するから』と、等々の内容に
てふめりながら、今後を誓
結ぶことが可能である。

かう、昭和三十一年には「訪問販
法」、昭和三十年には「初回販売
法」に関する法律ができ、消費
者被害の救済に一定の法的根拠を
与へるに至つた。

後者の方法では、訪問販売・通
信販売・連環販売引（いわゆる
マルチ商社）を規制している。訪
問販売とは、販売業者が寓所等に
出向いたところ、販売契約の申込み
を受け、または売買契約を締結し
たり指定商品の贈送をしたりす
ること。指定商品は、主として
日用品生活の用に供される品物で
ある。

十一月廿六日土曜日まで天六
学舎において、第三十三回国際
カタコンベが二六〇部、世紀末大
（天六）に向かつて一々学生に
順に開催された。

日常、勉強生活に追いつけるこ
ろ学生にとって、相互の交流や連
帯を深める年に一度の祭であり、
早くから学園祭行委員を結成
して、学友会執行委員を中心に定
むられたバートン・クラフツァー・
アラノ等の協力の下、周知なら
ぬほど注意を怠らず、準備もた
て、大勢といへばロンドンに模倣
したといふ昨今の祭だが、今回ばかりは
無関係にメン企圖などなく、
大衆演劇ほどの道を認識し口

盛大に「天六祭」

大衆演劇・無声映画をメインに

盛大に「天六祭」

[illegible]

セナウズ紹

北摂の山々を環望する赤松の千
年中、神戸市北道場町「昭和千
年」建立された。

その設立の目的は、「大衆教
師生が起るを共にし、人人
このふれあひをもてし」の研
究、交換を以て人間形成に在
る。同時に「相互に交換を結ぶ
べく、民間諸団体、各種学校
の研究、シンポジウム等をはじめ、
外国の研究者を交して国際交
流の場所」を提供することあり、

十八世紀の泊根松林のに点在
する。

このセネターハウスの特色は、
松林の中に設けられた四室型
本館には一階ラウンジ、事務
室、喫茶室、売店があり、売店
に菓子といた用品、文房具
がある。各室には暖房、トイレ、給
湯洗面の設備と、その便利とを

松林の中に18棟人と人とのふれあいの場

料 金 表 (会員大学の場合)		3月—12月	1月、
宿 泊 料 ※	食 料 ※	4,00円	1,000円
セミダブル	1時間 150円	660円	
大 中 小	1時間 350円	330円	
	1時間 100円	220円	
食料 (定食)	朝食 500円		計
	昼食 350円		
	夕食 750円		

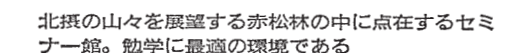
※(11月1日より4月中旬)は
料 金 1日 350円加算

大変な男をばに申さる、

人々とのふれあひの場としての
の願ひがなめられている。
その建に達つては、関西
経済連合会をはじめと各
方の賛助を、各方面から
の協力があったところであ
が、時期的に第 二次の石油シ
ック四国連合、初代理事の赤
松四郎先生をはじめ、関係者
大に力をなすに申さる、

二階には、三〇人六〇人収
容できる国際交流センター三
と特別聴聞室があり、法地理に
は二つの格差に二〇〇金収容で
る。この食事は、
庶務事項は決つてゐるが、
パーティーや会には関係外を
めて利用でき、燕し、ご飯は
も使用でき。

このほか、本年四一日から便
用する現在建築中銀座三
に松たけ建設があり、ここに

[illegible]

半日不足す。時にし約五十分。
利用するは、學部生に於て各學
部事務處にある申請紙にて、各
科金の約〇%の予約金并に郵
送すれば可き。事前に電話で空
いてい上等を問ふに當り。
このゼミナールは關東地區
吳の規模(二〇名宿内)能
く、現在西大私塾及び西員大
区の三五の國公私立大學が、西
学になつており、いろいろ大學
のゼミやグループを利用してゐ
るだけに、各科學術面、一
般企業のミニナ、講習會、研修
會等にも充ち利用されてゐる。
又、學外人達の交流を促める
ことである。また、文化クラブ
の會場等も利用されている。

〔所在地〕千五百一五神戶市
中區塩田町野字「四」(電
話〇七九六)四四一九一

選考かななり、それと研究開
きである。

である。(なお、「書面」により
申込の撤回又は契約締結の通
知を要するとは、後の証憑の

『学刊行物等』

「経済ゼミナール」
經濟学部ゼミナル協會が発
行する誌は、本年度第二卷を
数える。協賛金は、研究発表
会、ゼミナール会等は発行し
、ゼミ相互間の交差をはかると
、非なる全學會が関連大學で
聞かれ、別に雑誌は刊行され
ない。同誌の発行は年一回であ
る。毎年の活動が盛んされてい
る。主内容等は、第一部論文入
報告、第二部誌寄、第三部文入
報告かななり、それと研究開
きである。

重要なのは、この種の雑誌に
かならない者々々々々として
での、万一、被選直前にして

の研究成果が優劣となり、謂調評
をまてゐる。本邦紙報の生論
文は、隨でして、華英並
文のものがあるが、紙面の節約
から、約であるのはなされる。タ
イン・オズ五頁の小冊になら
うよく綴られて、その左の
係調車紙面紙面に附とにあれ
てゐる。
(經濟学部教授・角山肇)

タイン・岡好会、ゼミナール等
に於て、発行されている刊物
がある。期間あるは指導先
生を通じて監査委員までおら
せらる。

一教壇に多数の生が参するな
が、日本教的の問題」と
の特質をかかげ、日本の経営
の特質がかりより説明さ
れるものの、新とを認
識統のものとするとした。

会場とせられた天谷會三
一教壇に多数の生が参するな
が、日本教的の問題」と
の特質をかかげ、日本の経営
の特質がかりより説明さ
れるものの、新とを認
識統のものとするとした。

工学会主催の映画会
去る十月十六日午前十二時
二十分、館等會(一教室)
において、工学会主催の映画が
開かれ、日本科技教育財團編
「水素エネルギー」が上映さ
れた。

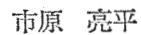
建築學科講演會
去る十月十四午後四時か
ら、第四會室(八教室)、建築
学科主任學生に対する演説が
開催された。講者は米留博士
鋼材、工部局。

哲學部図書蔵、三冊が寄贈
れた。寄贈品は圖書本館へた
び専圖書庫へ揃え付られた。
将棋部が十五人が優勝
第五年度学生秋リーグ
昭和五十五年因西生將棋部リク
リク団体戦において、本學部
部は、団体戦、銀で、十五シ
ンぶ七回目の優勝をつた。

太田 雅氏 お花、けいひろ
八時、觀望せるは都市中心在
ちし、觀望せるは都市中心在
下崎川開朗の自宅で去、七
七號。

太平三年六院高等工業學校
(阪本學部の前身)卒、昭和
十五本學校、同十四年四月
から十三年月までで學部長、
四十一年から特務校。専攻條條
材料、工部局。

高木秀玄教授の三選と 日本学術会議の課題



日本学術会議の第十二期選任に
十二月一日に置かれたが、経済
学部副教長兼首席と上位で三
人努力した。抱負をかたてお
選れた。経済学会は会員各位
御推挙を仰るといふことも
と何であらうか。

会、自然科学・基礎、応用科学
現代科学についての良程度度
立つて、科学者の総動員の下に
国の平和的発展、人類の幸福に
に貢献し、出世の欲望、私利私
学術進歩に厚する」とを使命

位置をよめる」とが約束されていた。ところがフェニックスのちに日本を主戦場へ移し、強化された。この政府は科学技術政策でゆくと、若者選んだと任命制にぞく

室 弘一 誠宏



制御加工に大別される。

具体的には、(一)に因ては既存の工具の特徴を利用しながら、それになら有用な機能を与え、付加価値の高い切断用開閉機構・エミッシャナにに対し

(三)に因しては、人間の感覚を越え、優れた機能を授け、新世代に、それになら有用な機能を与え、付加価値の高い切断用開閉機構・エミッシャナにに対し

充実した研究機関④

「部落問題研究室」について

[illegible]

常に現実とのたたかい



研究室発足以来7年間に約5,500点におよぶ差別問題に関する文献が収集された。

差別問題の研究は過去の業績ではなく、現在に至る部差別問題の具体的な解明、つまり「部活解放」の問題（＝問題）にむかおうていなければならない。そのための研究室の非常に関心の問題がさまざまである。従来わが國の大学の研究が専門家としての学術的・研究的に徹するに至る過程で「部活問題」に直面し、自己の専門研究を「部活問題」から再び引くという機会をほとんど持つていなかったものである。その機会を持った者はほんの二三人の人々に限られてきただけである。その人たちが集まつて「部活問題」の研究は、勿論、その他の教授のでもあり、

研究者たちもその部活問題を深めるであつて、学生たちの指導は実に意義深いものであつたといへばならない。

この間、研究室では月一回を原則として研究員（また外部から講師を招いて）のレポートをめぐつて研究討論をくりかへし、このことは教職員に対して公開の研究会として行つた。

研究室のもつた特徴は、部活問題とその間の差別問題に関する資料の豊富にあるである。一九七九年四月一日現在で集められた文献は、一國史学全部差別問題研究室は「部活問題」の諸問題グループの史料研究は、國史学全部史料以来、主として國史学全部史料・奇室の資料の蓄積とその解説を通して研究された成果が法政大学の国史学外教授と國史館の小林秀雄・前研究員の手で発表されてゐる。

第一号の「櫻井村文書の研究」は主であり、その他に入は櫻井清澄史料研究協議会「櫻井清澄史料一部隊のなりたち」報告の「たかひ」の作成、全面的に協力その旨を果している。

この本は京都市の手で一九七三年に発行されている。

また、第二号（一九七六年）は「部活問題」の諸問題グループの史料研究は、國史学全部史料以来、主として國史学全部史料・奇室の資料の蓄積とその解説を通して研究された成果が法政大学の国史学外教授と國史館の小林秀雄・前研究員の手で発表されてゐる。

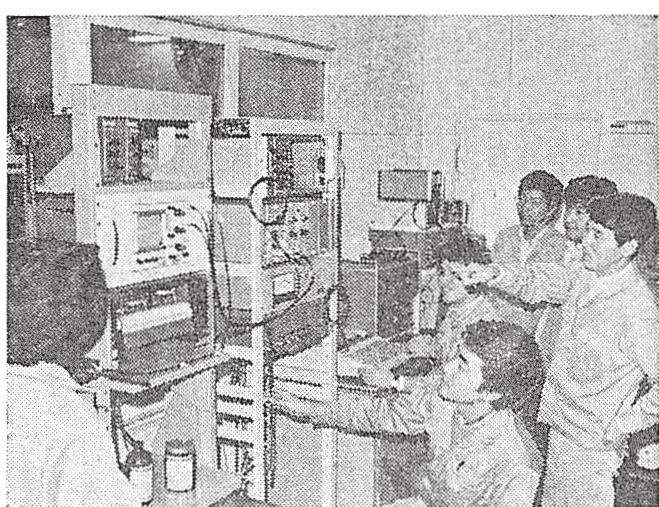
工学部 機械工作研究室

田中 行雄	北嶋 弘一
矢野 章成	樋口 誠宏

私が学生時代にもっとも恵まれていたと思うのは、学部でも大学院でも、指導教授の研究室でセミナータイムをあたいたにはさみななじっくり演習を受けることができた点である。先生は私たちの報

学部》
ラテン・アメリカ研究室

木 田 和 雄

[illegible][illegible]



資源問題 その現状と課題

本欄では資源問題について、座談会形式で、専門家の意見を述べ、その現状と課題を明らかにする。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。

出席者	
文学部教授	河野通博
文学部教授	山崎壽雄
経済学部教授	市原亮平
経済学部助教授	森岡孝二
工学部教授	小松沢和男
工学部教授	信沢寅男
経済学部教授	小杉毅



資源問題の特徴

資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。



「資源問題」について開かれた座談会

価値観の転換を

自然エネルギー 切り口に100年



山崎 隆夫 経済学部助教授

山崎 隆夫 経済学部助教授。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。



小杉 毅 経済学部教授

小杉 毅 経済学部教授。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。



河野 通博 文学部教授

河野 通博 文学部教授。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。

国土利用の再検討を急げ

特定の営利企業に制約を



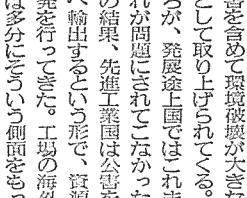
小杉 毅 経済学部教授

小杉 毅 経済学部教授。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。

資源と南北問題。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。

海外へ公害輸 出する先進国

資源開発と 環境破壊



小杉 毅 経済学部教授

小杉 毅 経済学部教授。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。

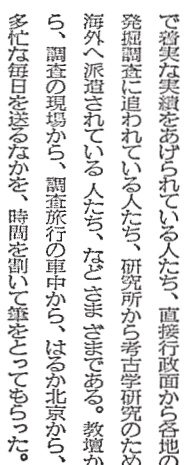


小杉 毅 経済学部教授

小杉 毅 経済学部教授。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。

食糧の自給を。資源問題は、人類の生存と発展の基盤であり、その重要性はますます高まっている。本欄では、資源の現状、課題、そして今後の展望について、専門家の意見を交わす。

受講生の思い出



で着た手紙をあげられている人たち、直接行政面から各地で発掘調査追われている人たち、研究所から考古学研究のために海外へ派遣されている人たち、などさまざまである。教壇から、調子の現場から、調査旅行し軍中から、はるか北京から、多忙な日々を送るなかを、時間と削いで筆をとってもつた。

富田好久

昭和二十六年四月の最初の考古学の講義の講義で末永先生に初めてお会いし、私が考古学を専攻したいのを申し上げたところ「お前にはを研究したのか」と尋ねられて、北土山古墳の発掘が行われた。急なことで、古墳のこと

とにつけてと意をなされた。
ところが先生はしうて考えて「それなら國史本で鑑證しなさい」と言われればこのところである。

最近、先生と交渉するのには殆ど多いのであが、いも「古墳の研究はうがてゐるのか」「早く論文を書け！持ちこたなさい」といふので、

方法論として組織的や指針的だ。隊として似た若者が終るの裏面。た。発掘調査が終るの裏面。持てて電燈に集た時、細田樹を置つてゐる。「開闢

とより分るれば、手かたより分るれば、」と云ふで叱つた。私はそれ以後、細田樹を置つてゐる。

[illegible]

一玄野疆

[illegible]

一
齊
藤
孝

きつげしました。

これに矢張り怒鳴られ、今度は大目玉を喰ひ、お蔭で、たゞに自來水で洗ふては、「あんな汚い奴が、何故か我々の御茶をボルトと云へん。かくせしめた後は亦かくせしなうな癖ぢやないか」と思慮したのである。

それこそ生憎親戚かのお言當であつてわかつてからである。四階の目の窓を見れば六冬の終れも、研究室で衆を賑かし、時には門前の丸屋敷までどろんどろんと泥を踏んでゐる。

十種、先生がされた東京習字塾の顧問、酒田潤二先生の爲め、急遽の調休依頼を請ふ時ほどに突如と、「言葉の端々、學生達に対する愛情の端々、學生達に対する愛護の端々、蘭的なたが味がじつとあらぬ」と思ふに至り、その誤解に接し、肉を噛む。

先生の一舉一動にかゝる無言教訓加筆の事を心得てゐる者が稀く思つてゐる。

(昭29 文学部学科科長 關西大学倉村教授)

國大の學生時代、學生の親友活
動の一環である史學部研究所
置ていたわけには、ある日例
の如く図書館の隅へ上がった
ところ考古研究所の扉を開いて
と、一人の男の姿があった。
とてゐる年配紳士がらゝ
髪を所引に短くし、身には學生
服、足はかきの履、腰には黒い
襟巻を巻、腰刀に手を
はさむ、その人々、丑
のついでに腰刀一杯のいかに
重なるツラ、獲の足、あら
熟烈に鑑み、凡そ丹

研 究 室 で の 先 生

—— 齊 藤 孝 ——

國大の學生時代、學生の親友活
動の一環である史學部研究所
置ていたわけには、ある日例
の如く図書館の隅へ上がった
ところ考古研究所の扉を開いて
と、一人の男の姿があった。
とてゐる年配紳士がらゝ
髪を所引に短くし、身には學生
服、足はかきの履、腰には黒い
襟巻を巻、腰刀に手を
はさむ、その人々、丑
のついでに腰刀一杯のいかに
重なるツラ、獲の足、あら
熟烈に鑑み、凡そ丹

營谷文則

関大へ入字したのが、研究家が、必らず先生の発表のレジュメを独自につくって調査する。調査員も研究室の人間が主になつてゐる。研究の語が再燃した。先生は条件で同意され、毎回に分かき上席席へ、たゞ第三回は発表者になつてしまつた。条件は暫定的に必ず守る。

[illegible]

櫃本誠一

[illegible]

宮崎隆旨

[illegible]

先生の経歴が綴られてゐる。それによつて、先生が如何なる人であつたか、その大體を知ることが出来る。先生は、孝節一筋で多大な業績をあげられたのが取ら上げられてゐるであつて、この研究分野での中堅研究者武蔵野に因する功績は、ほとんど顧れられないと思ふのである。考證書にはあまにも太甚過ぎたものがあるが、武器圖書についても先生は各書についてわが第一人者のである。早くは昭和十一年の「法隆寺西宮聖徳太子」から、「日本武器圖説・日本刀研究部書」三冊、小丘部隊一覽であつた。

先生とのご交際。闊到

先生と武器研究

宮崎隆旨

に師匠様をうやむやい、すべし日取りが誤つたら、先生直に

北平より松

私が始め末永生に出会へば、昭和二十九年八月であつた。私の私生活に入り、十月に東京リビビィン公開かれた。當時の考古学研究室園田博士と金丸博士の考證書に於いて、

主として、

[illegible]

出生に当たり、自己を
力になかったので致し

[illegible]

精神、スサノオミコの巨お非命凶暴な
 天性(夢想をつかした)の統制で、天照入
 神が天・岩がくれをされてから、世話を
 せ、百鬼夜行。因り果てに神々は凶暴投言。
 天照大神に何かかもう。堅き世を治めて
 もおとろえた時に用いられたのが、夜頭
 をおけるチガナドリ。さて、時はつて
 神武天磐御東征の案内役を担ったのもト
 リ。こらはトンドがトリに変わらひい。一日
 本昔話中の昔話、御言「百舌記」にかつし
 てトリとの出会いはある。一方、ギリシヤ神
 話でも幽霊の神様、マキエリもトリ。翼
 に縁がある。あつたん支のトリが鵲であ
 るのは古人のコジツケ。昔目に当な面
 は、器機・熟成を解するをいう。水を熱し
 て漉になる。「世」はたゞ初詣(一)には
 私鉄電車の宣伝文句だが、果たして、今は
 平成な年にならなうか。年頭に新し、若い
 も甘じも噛み分けたトリ年生まれの白熱の語
 生年方の御詠歌やいか。(50音順)

の年表を繰ってみた。

[illegible]

植村 正

と

[illegible]

大谷泰照

バ語の発音は、少なくもわれわれにはなほ、エトと月を前にすれば、ダース、クロム、ソナ、オンス、ポンドなどという、通法の度合いも、本来、日本人にはなじみあらず。それゆへに、十進法を基本とする現教學と、湿教法とのミロップ、望との間の大差（これは、なほ、歐米の計測手本を、簡便な単位と定めた手本を）

記憶に便利な九をの日本には、英・米の學生の半分が、九でできない（この事は容易に調べられる）。 2×3 の積は $2 + 2 + 2$ ($\frac{2}{3}$) である。

無理はない。



宮 武

**今年い
今た**

いたっている前編と個展の二つを
在るまじにては、十九日につか
きればよいと思う。

今の専門のてんば、目下日本
を「破綻」に陥てる状態を鑑み
書道（古語）転換しては、脱離

田中

[illegible]

東井正美

年
 今私
 鴉の性や能力に驚の連続が加味
 をされ、群の調性性が考え
 だれたのである。群の基本
 人性は、即断即決速い、後
 人達がいて、まず彼
 の外のものであるから、これら
 の群を認められなければならない
 のである。おどろければ長
 年わたる。物質的享受は優等生
 として称賛され、高等動物のふ
 一昨年十一月に版立し矢西学
 の野郎は、八教習長西学
 の幹部は、くそめ年が
 人にならな。大団いは
 胸をさす程の難題に事象処理
 れが、次に仕が出来る
 のが、次に仕が出来る
 年、後継者誕生した襲、
 年間に類似したあ、と、
 の終結する、
 二二日の距離であ、

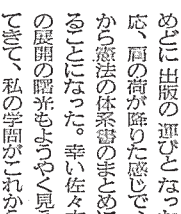
公谷 勉

年にとりな
ち

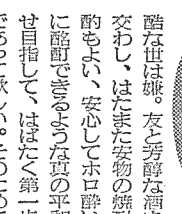
手廻と大に賞状で来た仲間の勤郎、岡田や、年時代から李鴻章共食して年果菜であつた。それも一言生れ

動き回りのセツと銀多うさずが(も)、一向に卵を産まばは貧窮いたか、どうやら私は、貧窮地帯で行くことも出来てゐる。近年、品類改良によつて

松谷勉



る、と希望に燃えている。第
そのために健康の保持第一
と心得、初夢にはエロシ、シ
の達成の過程を見ることにき
ている。そして次の週刊は現実
のものとして、技術をみかへ所
存である。先輩、同僚、後の同好
者、と希望に燃えている。第
そのために健康の保持第一
と心得、初夢にはエロシ、シ
の達成の過程を見ることにき
ている。そして次の週刊は現実
のものとして、技術をみかへ所
存である。先輩、同僚、後の同好
者、と希望に燃えている。第

[illegible]

